

ま え が き

『ICU 日本語教育研究』第 15 号をお届けいたします。

『ICU 日本語教育研究』をずっと発刊してきました日本語教育研究センターは、2018 年 4 月 1 日をもって、グローバル言語教育研究センターに生まれ変わりました。今後は日本語教育だけでなく英語教育や世界の言語の教育研究の一層の促進のためにも所員一同精進してまいりたいと思います。また今号からデジタル版という形での発行となります。出版母体や発行の形態は変わりますが、グローバル言語教育研究センターでは、今後も日本語教育になお一層の貢献をするべく、研究・研修に励み、さらに多くの情報を発信していく所存です。引き続き『ICU 日本語教育研究』をよろしく願います。

今号には、2 本の研究論文、3 本の研究ノート、2 本の実践報告の他、当センターの主たる活動の一つであるサマーコース報告、連続講演会およびシンポジウムの報告を掲載いたしました。2018 年度は、「日本語教育における『学びのユニバーサルデザイン』を考える」というテーマで講演会・ワークショップを実施いたしました。またグローバル言語教育研究センター研究例会を 3 回開催しました。

2019 年度は、日本語教育からは「日本語を家庭内言語としつつ『多言語多文化環境に育った』大学生への日本語教育」というタイトルでの講演会及びワークショップを、世界の言語からは「実践、体験を通して異文化理解を深める～朝鮮半島における庶民の語り『パンソリ』」というタイトルで公演及びワークショップを、英語教育からは「マジョリティの特権を考える－真のダイバーシティをめざして」というタイトルで講演会及びワークショップを、「クリティカル・シンキングを促進する言語教育」というタイトルの講演会を予定しております。

2018 年度サマーコースは、94 名の受講生を迎え、つつがなく終了し、その報告も掲載しました。実施には学内外の多くの方々のご支援をいただきましたこと、ここに深く感謝申し上げます。

2019 年 3 月 1 日
グローバル言語教育研究センター長
岩田祐子

本誌の過去の号は、以下からダウンロードできますので、ご利用ください。

ICU リポジトリ : <https://icu.repo.nii.ac.jp>

目 次

まえがき	岩田 祐子	
論文		
文学作品の用例から探る女性発話による「ええ」の使用について —宮本百合子『伸子』、有島武郎『或る女』、吉屋信子『花物語』—	金山 泰子、二宮 理佳	3
教室内にみられる日本語学習者の質問生成	吉田 睦	21
研究ノート		
継承日本語話者である大学生の読解プロセスに関する調査 —発話思考法を用いたパイロットスタディー—	金山 泰子、藤本 恭子	37
ライティング指導における対話の役割 —構想を練るための支援として—	保坂 明香	57
難しさを抱える日本語学習者 —問題と教員の対応—	澁川 晶、保坂 明香、武田 知子	69
実践・調査報告		
「JLP 祭 2018」報告	小澤伊久美	83
集中日本語中級クラスにおける演劇活動の実践報告	藤本 恭子、乾 逸子	91
夏期日本語教育報告		
総括	金山 泰子	105
教務報告	桜木ともみ	109
文化プログラム報告	保坂 明香	115
事務報告	事 務 室	119
講演会・シンポジウム報告		
「読み書きの困難な子どもに対するワーキングメモリ理論からの支援」		127
「ディスレクシア—現場の教師に求められる知識と態度—」		128
活動、教職員一覧 (2018年4月～2019年3月)		
活動		131
教職員一覧		131

